

北九州市立大学地域共生教育センター (421Lab.)

# FULL

[フル]

2026年度  
.....  
Vol.19

地域につながる。自分をひろげる。

 **421Lab.**  
北九州市立大学 地域共生教育センター  
Regional Symbiosis Education Center



## 421Lab.学生運営スタッフ



地域共生教育センター（通称：421Lab.）は、学生の力を必要とする地域と地域活動を行いたい学生を「繋ぐ」架け橋のような役割を担う団体です。また、学部学群の垣根を越えて学生が共に学び、高め合いながら経験を積める場でもあります。私たちは、実際にプロジェクトに参加し、「運営スタッフに出来ることは何か」を日々考え、より良い活動が出来るように、研修の企画や実施、地域の方に知っていただくための広報活動、サポート体制の整備等の活動を行っています。



### ■プロジェクト人数

50名

### ■活動開始時期

2010年4月～

### ■活動頻度

全体会（毎週水曜日昼休み）  
各グループ活動（週に1回）

### ■連携・受入団体

北九州市内の行政機関、  
民間組織、団体等

### ■主な活動場所

地域共生教育センター  
（421Lab.）

421Lab.学生運営スタッフは3つのグループで活動しています。

1

### 大学・地域 支援グループ

大学・地域支援グループは、421Lab.の活動を広く知ってもらうための企画立案やイベント運営を行っています。学内では、入学式やオープンキャンパスでの相談会、大学祭への出店等を通して、新入生や受験生、地域の方々に活動紹介や大学生活の情報提供を行っています。学外では、関西からの修学旅行生の受け入れや、地元の小中学生向けの企画を行い、SDGsへの理解や大学教育の勉強について伝えています。幅広い世代の方々との交流を通して、柔軟な企画運営能力を養える点が特徴的です。



2

### Lab. 支援グループ

Lab.支援グループは、421Lab.全体の運営をサポートしており、広報誌やSNSなどを通じ、各プロジェクトの取り組みを発信する広報活動を中心に行っています。また、421Lab.公式noteにて掲載している【ラボログ】では、プロジェクトの活動報告や学生運営スタッフの日常を記事にしています。他にも、学生運営スタッフを対象とした講座も実施し、企業や団体など学外の方と関わる際に必要となるビジネスマナーについての講座を開催しました。



3

### プロジェクト 支援グループ

プロジェクト支援グループでは、421Lab.に所属する学生がより良い環境で地域活動に取り組むことができるように研修会や交流会を開いてサポートしています。交流会の中で、熱中症対策講座をはじめ、プロジェクトに関わる学生のみならず、子どもたちや地域の方に向けた対応や意識改革を促すよう努めています。また、来年度は、学生運営スタッフによる出向の在り方にも目を向けて、プロジェクトと学生運営スタッフを繋げられるような活動をしていきたいと考えています。



# 421Lab. 2025年度の主な活動



## 北九大のリアルな魅力を発信! 北九大認知度向上プロジェクト



「認知度向上プロジェクト」という堅い印象を持つかもしれませんが、活動は授業の空いている時間などを使って自分のペースで行っています。プロジェクト内には班が2つあり、魅力発信班では、主に大学訪問に来る高校生に、キャンパスツアーを行ったり、大学生活や受験体験のプレゼンを行ったりしています。サイト運営班では「KitaQReal.」というサイトの運営を行い、授業や課外活動、就職活動等々、学生目線の情報発信を行っています。

### こんな人に おすすめ

- ① 北九大の魅力を発信したい人
- ② 自分の体験を高校生に伝え、高校生の力になりたい人
- ③ ホームページの運営、Web記事の執筆に興味がある人

### ■プロジェクト人数

26名

### ■活動頻度

【全体】ミーティング:  
月1回程度、昼休み

### 【魅力発信班】

高校の大学訪問対応:  
月2回程度

【サイト運営班】執筆会:  
月1回程度、昼休み

### ■連携・受入団体

北九州市立大学  
(企画戦略課広報係)

### ■主な活動場所

学内

DE&Iに出会い、認め合う社会を!

## DE&I学生プロジェクト

:ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン



大学におけるDE&I(多様性・公平性・包摂性)の促進を目指して、学生自身が活動を立案・企画・運営していきます。具体的には、ワークショップ等の開催、居場所づくり、啓発・広報活動に加え、ランチタイムを活用した短編映画の放映などを予定しています。映画放映は学生企画を代表する取り組みの一つであり、その他の活動についても、学生の発案をもとに企画・実施されます。また、新入生を含む学生一人ひとりの意見が企画へつなげる可能性もあり、学生の声が反映されやすい点が本プロジェクトの大きな特徴です。

### こんな人に おすすめ

- ① ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンに関心のある方
- ② 自らのマイノリティ性を社会の役に立てたいと思っている方
- ③ 他者を尊重し、協力して物事を進めることができる方

### ■プロジェクト人数

10名

### ■活動頻度

●定例ミーティング  
(月に2回程度)

●イベント企画ミーティング  
(5,9月)

●短編映画上映  
1年に5~6回程度

### ■連携・受入団体

北九州市立大学  
(総務課庶務係)

### ■主な活動場所

学内

企画拡大中! 挑戦したい学生、集まれ!

## オープンキャンパスプロジェクト



毎年開催されるオープンキャンパスの企画・運営を行います。受験生や保護者の皆様に学生生活のリアルをお伝えする企画を私たちが考案して実行しています。こうした活動を通して、受験生に本学への理解を深めてもらうことで、進学意識の向上や志願者の確保に繋がっています。今年度は、新しい取り組みに挑戦することになっており、新しい仲間が必要です!一緒に北九州市立大学を盛り上げましょう!

### こんな人に おすすめ

- ① イベントの企画・運営に興味がある人
- ② 北九大の良いところをアピールしたい人
- ③ 熱い仲間と一緒に盛り上がりたい人

### ■プロジェクト人数

25名

### ■活動頻度

活動時期には週に2~3回、お昼休みや空きコマを使ってミーティングを行っています。

### ■連携・受入団体

北九州市立大学  
(企画戦略課広報係)

### ■主な活動場所

学内や近隣の高校

魅力ある就職イベントを一から作り上げよう!

## JOB×HUNTER(学内合同企業研究会)



毎年多くの北九大生が参加する一大就職イベントである学内合同企業研究会「JOB×HUNTER」を、学部1~3年生が主体となって、参加企業の選定から出展交渉、パンフレット作製、事前イベントの開催、当日の会場運営からイベントの実施まで全て行います。本プロジェクトを通して、学生スタッフ自身の成長を促すとともに、将来の進路の選択肢を広げ、広い視野を持って進路決定に臨むことを目的に開催しています。

### こんな人に おすすめ

- ① 自分を成長させたい人
- ② 大学生活で何かに挑戦したい人
- ③ 信頼できる仲間を作りたい人

### ■プロジェクト人数

40名

### ■活動頻度

●全体ミーティング  
(毎週1回昼休み)

●リーダーミーティング  
(毎週1回空きコマ)

●各自企業誘致の営業活動、各班の活動など(約半年間)

### ■連携・受入団体

北九州市立大学  
学生支援課就職係  
(キャリアセンター)

### ■主な活動場所

学内

Category:  
Regional Challenges

## 子育てや教育、 食育を通して 地域課題に取り組む

子どもたちの体験を通して、豊かな心を育む活動を行っている。また、食を通して健康に関する知識を得、食育に活かす取り組みを行う。



## 「遊び」と「学び」から笑顔と思い出を！ 421Lab.わくわくキッズプロジェクト



子どもたちが楽しく遊びながら学ぶことができる企画をメンバー全員で考え、関わったすべての人が楽しめるイベントを提供することを目的としています。未就学児から小学校の中高学年まで、それぞれの年齢層に合わせて企画の内容を考え、より楽しめるよう、そして学びがあるように工夫しています。具体的には、大英産業株式会社が主催する出張子ども大工の参加や、プレイセンターハロハロへの参加、その他にも季節行事に合わせたイベントの開催をしています。

### ■プロジェクト人数

24名

### ■活動頻度

毎週月曜日昼休みに  
定例ミーティング、  
月1・2回不定期で  
イベント参加

### ■連携・受入団体

大英産業株式会社、  
コラボキャンパス  
ネットワーク等

### ■主な活動場所

学内、保育園や  
小学校、商業施設

## 子どもたちが安心できる居場所づくりを 子ども食堂応援プロジェクト



子ども食堂応援プロジェクトでは、北九州市内の子ども食堂で子どもたちと一緒に遊んだり、勉強したりしています。みんなでご飯を食べることで孤食を防ぐとともに、子どもたちが楽しく安心して過ごすことのできる第三の居場所づくりを目標としています。現在は、3つの子ども食堂と連携して活動する他、北九州初である学生主体の子ども食堂である「まるっと食堂」を運営しており、多方面にわたり、成長することができるプロジェクトとなっています。

### ■プロジェクト人数 58名

### ■活動頻度

(日明)  
毎月第2・4週(木)17:00～  
(城野)  
毎月第3週(水)17:00～  
(若園)  
毎月第2週(木)16:00～  
(まるっと食堂)  
毎月第1週(水)17:00～

### ■連携・受入団体

日明元気もりもりハウス  
城野子ども食堂ハッピー  
こあらのおうち子ども食堂  
特定非営利活動法人 BeWith

### ■主な活動場所

北九州市立各市民センター  
(日明・城野・若園)  
LEARNING SPACE CANDLE

## ちいきの子どもたちといっしょにあそんでいく？ こども知育プロジェクト



私たちは月に2・3回貴船Y・Y児童クラブを訪問し、子どもたちと遊んだり宿題のサポートをしたりしながら、小学生への居場所づくりと学習支援を目的とした活動を展開しています。さらに、9月には「第51回小倉南区子どもまつり」、11月には「よみうりキッズフェスタ」へ参加し、知育ブースの企画・準備を行いました。このイベントを通じて、子どもたちに楽しい学びや遊びの機会を提供することができました。

### ■プロジェクト人数

13名

### ■活動頻度

●毎週火曜日昼休みに  
定例ミーティング  
●月3回土曜日に学童で  
子どもと交流  
●1年に3回程度子ども  
関連イベントへの参加

### ■連携・受入団体

貴船Y・Y児童クラブ

### ■主な活動場所

貴船Y・Y児童クラブ

## 楽しく遊んで英語をもっと身近な存在に！ 英語で遊ぼうプロジェクト



このプロジェクトでは、主に未就学児から小学生を対象に、英語に楽しみながら触れてもらう機会づくりの提供を目的に活動しています。アルファベットや簡単な英単語を使ったゲームの企画を考えたり、体験型ブースの作成をしたりなど、イベントに応じた準備を行っています。また、コラボキャンパスネットワークの方々と夏祭りを開催し、英語を通じて子どもたちの発達を支えられるように活動を続けています。

### ■プロジェクト人数

20名

### ■活動頻度

毎週金曜日昼休み  
定例ミーティング  
(約15分)

### ■連携・受入団体

コラボキャンパス  
ネットワーク、  
公益財団法人  
北九州YMCA学院  
学童保育クラブ、  
読売西部アイエス

### ■主な活動場所

学内、クレカ若松、  
公益財団法人  
北九州YMCA学院

421Lab.  
とは…?

**421 Lab.**  
北九州市立大学 地域共生教育センター  
Regional Symbiosis Education Center

地域共生教育センター(通称:421Lab.よんにーいち・らぼ)は、地域社会における実践活動を通じて次世代を担う人材育成を目指すとともに、北九州市立大学の地域貢献活動の一翼を担うことを目的に2010年4月に設置されました。全学部全学科の学生が参加でき、多様な地域活動の機会を設け、地域課題を解決できる人材育成に取り組んでいます。

421Lab.における活動は、すべて学生主体の課外活動です。プロジェクトに参加している学生は、学部・学科、学年横断型のチーム編成や、行政・企業・地域との協働により、新たな価値観に触れ、異なる意見にも耳を傾け、自らの役割を理解しながら活動を進めています。

Category:  
Protecting Livelihoods

## 防犯・防災・ 福祉の課題に 取り組む

災害復興の支援や防犯・防災に備えるため、地域の課題解決に取り組んでいる。また、平和や福祉について考え、豊かな社会を築くため活動している。

北九州の食が、被災地との架け橋に！

### KITAQ∞「絆」復興応援プロジェクト



私たちは、東日本大震災をはじめとした被災地の復興支援と、震災の記憶を風化させないことを目的に活動しています。地域の祭りやイベントに参加し、岩手県釜石市の名物であるイカと、小倉発祥の焼うどんを組み合わせ「絆焼うどん」を販売しています。売上の一部は義援金として寄付し、残りは旅費などの活動資金に充てています。さらに、防災意識を高めるために防災教室も開催しています。食を通じて、人と地域、そして被災地をつなぐことを大切に活動しています。



- プロジェクト人数 10名
- 活動頻度 隔週での定例ミーティング、焼うどん出店、防災教室、被災地派遣
- 連携・受入団体 お好み焼きいしん
- 主な活動場所 学内、お好み焼きいしん、各地のイベント

みらいの平和へ、一歩ずつ。

### みらいピースプロジェクト



「小倉が8月9日の原爆投下第一目標地だった」という歴史的背景と、若者の平和意識の低下への危機感から、2011年に前身である「平和の駅運動プロジェクト」が発足しました。その思いを引き継ぎ、活動の幅を広げて再構築されたのがみらいピースプロジェクトです。小中学生への平和教育や研修会の実施、企画を通じた発信により、平和への関心を高め、未来の平和づくりに寄与する活動を継続しています。



- プロジェクト人数 8名
- 活動頻度 週1回定例ミーティング、月1回から2回程度学内外活動
- 連携・受入団体 北九州市平和のまちミュージアム、北九州平和資料室 TICO PLACE、北九州市ピースフィールドクラブ
- 主な活動場所 学内、北九州市立葛原小学校、北九州市立西小倉小学校、北九州平和資料室 TICO PLACE、広島市、北九州市平和のまちミュージアム

防犯防災意識向上のきっかけづくり

### 防犯・防災プロジェクト(MATE's)



「北九州市を学生の視点から安全で安心なまちにしたい」。そんな思いを胸に、私たちは防犯と防災という2つの分野で、さまざまな活動に取り組んでいます。メンバー一人ひとりが、自分事として「まちの安全・安心」について深く考えています。私たちの目標は、防犯や防災の難しい部分を楽しく、わかりやすく伝えることです。プロジェクト活動を通じて、多くの方が防犯・防災に関心を持ち、行動を起こせるよう取り組んでいます。

- プロジェクト人数 60名
- 活動頻度 週に1回(木)の定例MTG、月に3回程度のイベント
- 連携・受入団体 NPO法人好きっちゃ北九州、一般社団法人九州防災パートナーズ、自衛隊福岡地方協力本部北九州出張所、福岡県人づくり県民生活部生活安全課、北九州市総務市民局安全・安心推進課、北九州市消防局予防部予防課、北九州市門司区役所総務企画課、福岡県警察本部生活安全部生活安全総務課、福岡県小倉南警察署生活安全課、少年課・交通課、一般社団法人海峡都市関門DMO、犯罪被害者・遺族の会「つながり」、NPO法人盗撮防犯ボランティアWc、門司学園中高保護者会、株式会社J.COM
- 主な活動場所 学内、北九州市の小学校・市民センター、ショッピングモールなど

動物福祉について学び、命の大切さを伝える

### 動物福祉プロジェクト



動物福祉は、動物が精神的・肉体的に健康で、幸福であり、環境とも調和しているということです。私たち動物福祉プロジェクトは、様々な団体と交流、イベントのお手伝いなどを行っており、動物福祉についての現状や課題などを自ら学び、考えるようにしています。そして、SNSなどを使って「動物福祉」や私たちの活動をより多くの方に知ってもらえるように日々活動を行っています。

- プロジェクト人数 47名
- 活動頻度 ミーティング(月1回)、北九州市動物愛護センターへの訪問(月1回)、ペットボトルキャップ回収(月1回)、犬カフェかたのだ子ども食堂(月1回)
- 連携・受入団体 NPO法人ドッグセラピージャパン、NPO法人アニマルホームOhana、NPO法人ALL OK
- 主な活動場所 犬カフェかたのだ、学内

生理を身近に、誰かのためになることを今始めよう

### 生理の貧困プロジェクト



私たちのプロジェクトは、生理の貧困問題を身近なものとして感じてもらうための活動を行っています。まず、生理を取り巻く課題を把握し、その課題の解決に向けた活動内容を検討します。そして、生理やジェンダーを女性や当事者だけでなく、すべての人々に身近なものであると感じてもらうためのイベントを企画し実行します。また、生理やジェンダーに対するマイナスイメージを払拭することも目標の一つとしています。

- プロジェクト人数 12名
- 活動頻度 週に1回のミーティング、1~2か月に1回程度のイベント
- 連携・受入団体 特になし
- 主な活動場所 学内

Category:  
Global & Local Visions

## 国際貢献・ 北九州の 文化に取り組む



北九州の文化を発信することにより課題解決に取り組んでいる。また、国際交流や国際貢献を目的に活動しグローバルな人材育成を行っている。

日常に文学を！

## 「ブンガクの街北九州」発信プロジェクト



私たち「ブンガクの街北九州」発信プロジェクトは、「北九州市を『文学』の街としてブランディングする」というコンセプトのもと、北九州市の魅力の再創出のために活動しています。北九州市にゆかりのある文豪や文学作品を多くの人に広める中で、北九州市をさらに盛り上げ、また、地域の人と「文学」を通して交流するなど、たくさんの方々のご協力のもと、日々活動しています。

### ■プロジェクト人数

28名

### ■活動頻度

毎週金曜日昼休みの定例ミーティング、月に1回程度週末にイベントに参加

### ■連携・受入団体

北九州市立文学館、小倉京町銀天街

### ■主な活動場所

学内、北九州市立文学館、小倉京町銀天街

気軽に国際貢献しよう！

## TFT×KitaQ univ.プロジェクト



私たちは「食」を通じた国際貢献を目的に活動しています。TFTとはTable For Twoの略称で「2人のための食卓」を意味し、先進国と開発途上国の食の不均等を解消する活動の事です。主な活動内容は、北方キャンパスの学生食堂で開催される「TFTフェア」で、売り上げの一部を開発途上国の子どもの給食費として寄付するためのメニューを提供することです。そのほかにも学外のイベントに参加し自分たちが考案したメニューの販売を行い、同様に売り上げの一部を寄付しています。

### ■プロジェクト人数

22名

### ■活動頻度

毎週月曜日または火曜日の昼休みに定例ミーティング、年に2回程度の食堂コラボ、年に4回程度の出店活動

### ■連携・受入団体

北九州市立大学生生活協同組合、株式会社プロデュース、特定非営利活動法人BeWith、Table For Two運営事務局

### ■主な活動場所

北九州市立大学  
北方キャンパス学生食堂

文化の魅力をかち合い、共生の花を咲かせよう

## 国際交流プロジェクト FIVA



私たちは外国の方との交流を通じ、「多文化共生社会」を実現することを目標として活動しています。主な活動は、北九州YMCA学院や北九州国際技術協力協会(KITA)の研究員との交流会の開催です。外国人の方々に日本の文化や言語の魅力を伝え、日本での生活をサポートすることができるよう日々取り組んでいます。実際に異文化を体験し、多文化共生についての理解を深められる機会を提供しています。

### ■プロジェクト人数

37名

### ■活動頻度

毎週木曜日の昼休みに定例ミーティング、年に6回程度の交流会

### ■連携・受入団体

北九州YMCA学院、公益財団法人北九州国際技術協力協会(KITA)、株式会社Mahal.KitaQ

### ■主な活動場所

学内、北九州YMCA学院、北九州市内及び近隣地域

まだよく知られていない門司港の魅力を探索しよう！

## 北九州文化観光プロジェクト



門司港の魅力はレトロ地区だけではなく。歴史的建造物、食文化、景観、港、人々など魅力がたくさんあります。本プロジェクトでは門司港及び門司地区のまだ知られていない魅力を探るため、フィールド活動を通して地域の文化的資源や見どころの情報を発信します。行政、事業者、ボランティアなどとの交流を通して、文化観光、まちづくり、地域経済、人口減少・高齢化など地域課題の解決に向けた政策を楽しく学びます。

### ■プロジェクト人数

22名

### ■活動頻度

月に2日2時間程度

### ■連携・受入団体

門司区役所他

### ■主な活動場所

北方キャンパス  
(図書館ホールほか)

北九大発！大豆ミートで広がる国際貢献

## 国際開発プロジェクトThaksina



Thaksinaはタイ南部パッタラン地域の経済開発とタイのタクシン大学との交流を目的としたプロジェクトです。北方・ひびきの両キャンパスの学生が所属し、それぞれの強みを活かして、大豆ミートを使ったソーセージの商品開発やマーケティングに取り組んでいます。また、タクシン大学の学生の受け入れや訪問を通じ、双方の地域の伝統や価値観への理解を深めています。言葉や国籍、宗教の違いを超え、和気あいあいと活動しています。

### ■プロジェクト人数

10名

### ■活動頻度

毎週月曜日昼休みミーティング、イベントに合わせて商品開発

### ■連携・受入団体

タクシン大学  
パッタランキャンパス、株式会社ヤギシタ

### ■主な活動場所

北九州市立大学  
北方キャンパス・ひびきのキャンパス

Category:  
Environmental  
Problems

## 環境問題の 課題に取り組む

ゴミ拾いや環境問題を通して「SDGs未来都市」  
としての魅力発信を行うとともに、学内の様々な  
環境問題に取り組んでいる。

清掃を通して、まちの魅力を向上・発信する！

### まち美化魅力向上プロジェクト Clear



私たちは「清掃を通して街の魅力を向上させ  
ること」を目的に日々活動しています。昨年度  
から始めた大学周辺の清掃や、地域の方と  
一緒に行う神嶽川の清掃に取り組み、ただ清  
掃活動をするだけでなく、街をきれいに保つ  
方法を模索しながら活動しています。また、今  
年度からは大学周辺のポイ捨てごみの集計を  
行い、ポイ捨て問題を「見える化」し、多くの  
人に知ってもらおう活動にも取り組んでいます。

#### ■プロジェクト人数

16名

#### ■活動頻度

週に1回の定例ミー  
ティング、月に1~3回の大学  
周辺清掃、月に1回の神  
嶽川の清掃

#### ■連携・受入団体

株式会社ミクニ、  
河川愛護団体、  
神嶽川を美しくする  
団体

#### ■主な活動場所

北九州市立大学  
北方キャンパス周辺、  
神嶽川

つながろうSDGsの輪

### KITAGキャンパスSDGs



私たちは、主に学内のSDGs文化の醸成  
に取り組むプロジェクトです。SDGsの観点  
から学内の課題を探し、企業や学内関係者  
の方々にご協力していただきながら、学生が  
主体となって課題解決に取り組んでいます。  
また、学外でワークショップを開催したり、  
環境イベントに参加したりするなど、活動の  
幅を学外にも少しずつ広げています。現在、  
株式会社タカギ、KAMIKURUプロジェクト、  
株式会社タカギ、KAMIKURUプロジェクト、  
大英産業株式会社と協働し、活動を行って  
います。

#### ■プロジェクト人数

17名

#### ■活動頻度

週に1回1時間程度

#### ■連携・受入団体

株式会社タカギ、  
KAMIKURU  
プロジェクト(エプソン  
販売株式会社、  
NPO法人わくわーく)、  
大英産業株式会社

#### ■主な活動場所

学内

アットホームな雰囲気と綺麗な街をめざす

### 地域クリーンアッププロジェクト



私たちは、楽しくアットホームな雰囲気を大切  
にしなが、大学周辺のゴミ拾い活動に取り組  
んでいます。仮装して行うハロウィンやクリスマ  
ス清掃、お花見清掃など季節に合わせたイベ  
ントも実施しています。近年は、地域の高校生と  
も活動する機会が増え、多くの人と交流なが  
ら取り組める場として広まりつつあります。継続  
的な活動により、「ポイ捨てはかっこ悪い」という意  
識を広めることを目指しています。



#### ■プロジェクト人数

27名

#### ■活動頻度

毎月第2、第4水曜日  
17時30分から約1時  
間程度

#### ■連携・受入団体

NPO法人 greenbird

#### ■主な活動場所

北九州市立大学  
北方市民センター

「もったいない」なら私たちにお任せください！

### 北九大もったいないプロジェクト



北九大もったいないプロジェクトでは、学内  
に潜む「もったいない」を見つけ出し、持続的  
に有効活用するための方法を考え実践する  
活動を行っています。食品ロスや節電、リサイ  
クルなど、私たちにとって身近な話題を取り  
上げることで、学生の環境問題に対する意識  
の向上を目指しています。個々の意見が活動  
に反映されやすく、また、何事にも挑戦でき  
る環境であるため、メンバー全員が主体性・責  
任感をもって課題解決に取り組んでいます。



#### ■プロジェクト人数

19名

#### ■活動頻度

週1回全体でのミー  
ティング、継続活動、  
不定期で企画やイベ  
ント実施

#### ■連携・受入団体

北九州市立大学  
総務課、  
大英産業株式会社

#### ■主な活動場所

学内



### 環境ESDプログラムとは…?

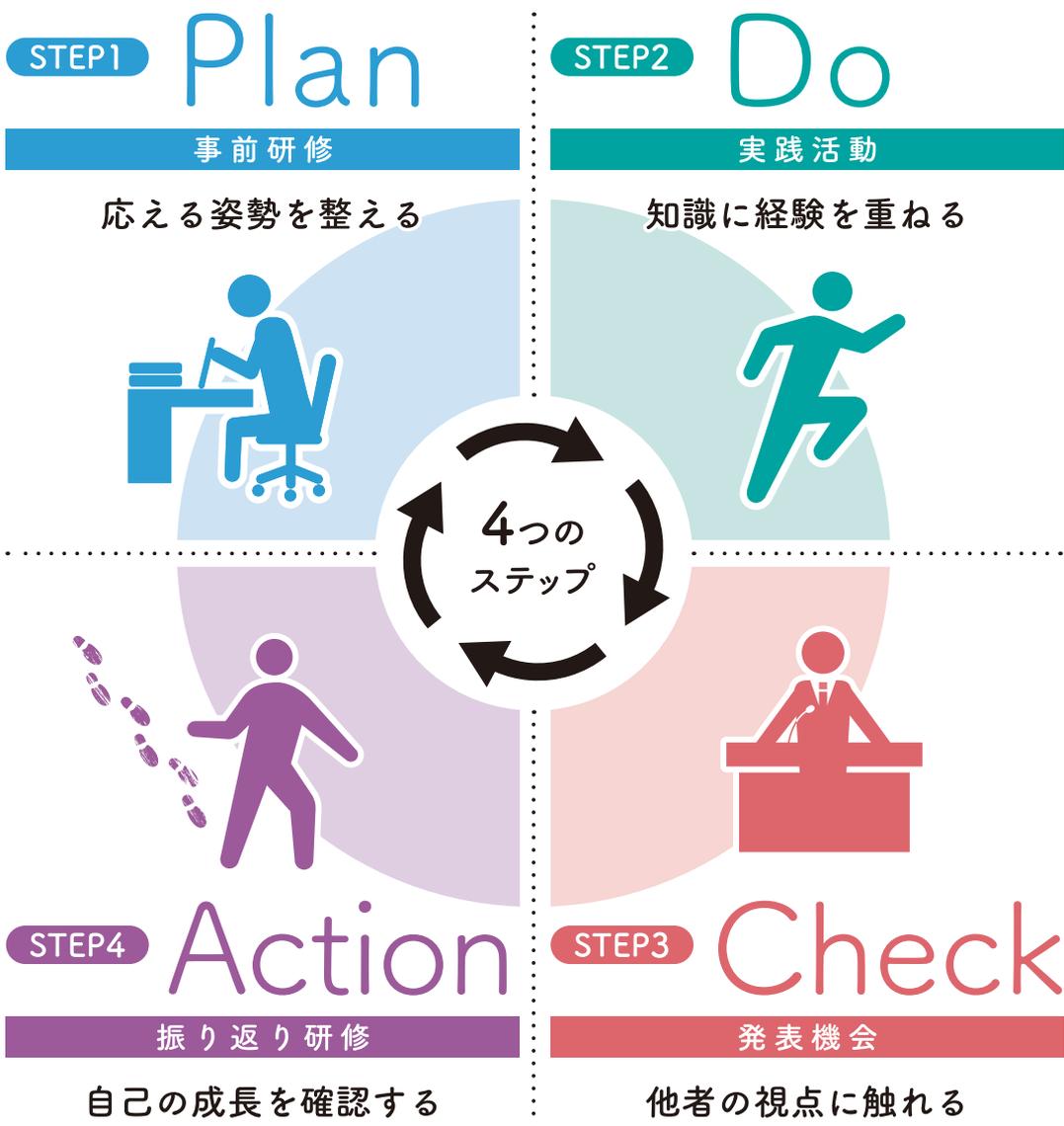


本学が提供する副専攻で、自学科・学類以外の提供科目を含む  
一定の単位取得要件を満たした学生に対して、学位記と共に副専攻  
修了証が交付されます。

ESDというのは、Education for Sustainable Development(持続  
可能な開発のための教育))という意味です。ESDは日本が2002年に  
提唱した概念で、環境・経済・社会の面において持続可能な将来をもた  
らすための人材育成のことを表しています。

かつて北九州市は公害被害に苦しみ、市民と企業と行政とが連携する  
ことで公害を克服してきました。このような背景から、本学では「豊かな  
未来に向けた、開拓精神に溢れる人材育成をしていくこと」を理念に  
掲げ、「環境」という視点からESDを捉え、持続可能な社会づくりに貢献  
する人材を育むために「環境ESDプログラム」を立ち上げました。

毎年度、新2・3年生を対象にプログラム履修希望を受け付けています。  
詳しくは、2号館1階の421Lab.までお気軽に相談ください！



## 「何を考えるか」から「何を学びとるか」へ

近年、学習のカタチが変化し、教員が一方に教える講義スタイルから、社会現場での体験活動に主を置いた実習スタイルが増えてきました。421Lab.でも、被災地の復興や自然環境の保全、伝統文化の継承などの実社会にある身近な課題をテーマとして、専門分野を超えて課題解決に向けた連携が進んでいます。

しかしながら、一般的な実習スタイルでは「体験すること」が目的となりがちであり、本来のねらいである「教育」からずれてしまうこともあります。

421Lab.では、「事前研修」、「実践活動」、「発表機会」、「振り返り研修」というPDCAサイクルを回すことで、学生自身が何を学びとるかを考え、確実に成長するプログラムを備えています。地域活動に関わった学生が取り組んだ課題に興味を持ち、卒業後の進路につながったり、活動で達成できなかった部分を自分の課題として向き合ったりしていくことにつながります。

体験するだけで終わるのではなく、学生が「体験を通して学びとる」ことに注力し、学生の成長を応援しています。

### ・災害時緊急支援チーム・

災害発生時には行政や社会福祉協議会からのボランティア要請に迅速に応え、災害ボランティアセンター(通称:災害VC)の運営等に携わります。

おもな活動内容 1年に1度研修を行います

発行 北九州市立大学地域共生教育センター

発行年 2026年3月

協力 プロジェクトに参加いただいている多くの皆さま



**421Lab. メールに登録して最新情報をGET!**  
info421@kitakyu-u.ac.jp